

平成28年11月25日提出
教育委員会議 議題1 別冊

広島市ハイスクールビジョン

～広島市立高等学校の将来構想～

(案)

平成28年(2016年)11月
広島市教育委員会

目 次

| | 頁 |
|--|----|
| <u>はじめに</u> | 1 |
| <u>Ⅰ ハイスクールビジョンの策定に当たって</u> | |
| 1 計画期間 | 2 |
| 2 計画策定の経緯 | 2 |
| 3 本ビジョンの位置付け | 3 |
| 4 ハイスクールビジョン推進プログラムの策定 | 3 |
| <u>Ⅱ 広島市域内の高等学校の20年後の姿を見据えた今後の取組</u> | |
| 1 今後15年後、20年後の見通し | 4 |
| 2 新しい時代にふさわしい高等学校教育 | 5 |
| 3 20年後の姿を見据えた今後の取組 | 6 |
| <u>Ⅲ ハイスクールビジョンの実現に向け、目指す人間像と重点を置く教育</u> | |
| 1 広島市の高等学校教育が目指す人間像 | 8 |
| 2 重点を置く教育の内容 | 8 |
| (1) 全ての生徒が共通して身に付けるべき資質・能力の育成 <共通性の確保> | 8 |
| ア 市民社会の一員として参画し貢献する意識の醸成 (人格形成・自己実現) | |
| イ 社会・環境の変化への適応に必要な力の育成 | |
| (2) 多様な学習ニーズへのきめ細かな対応 <多様化への対応> | 9 |
| 3 共通性を確保した上で提供する多様な教育の方向性 | 10 |
| (1) 全日制課程 | 10 |
| ア 普通科 | |
| イ 普通科 コース | |
| ウ 専門学科 | |
| (2) 定時制及び通信制課程 | 10 |
| (3) 中高一貫教育校 | 10 |
| <u>おわりに</u> | 11 |
| 《参考資料》 | 13 |

はじめに

高等学校教育においては、生涯にわたって学習する基盤が培われるよう、義務教育の基礎の上に、主体的に学ぶ習慣と幅広い教養を身に付けさせ、その上で、一人一人の個性の伸長を図りつつ、一定の専門的な知識等を習得させるとともに、社会の発展に寄与する志や責任感を養うことが求められます。

本市教育委員会では、これまで、教育を取り巻く社会の変容等を踏まえ、市民のニーズや期待に応えるため、普通科高校への特色あるコースの設置、専門高校の学科改編、中等教育学校の設置等、市立高等学校教育の充実に向けて改善を図り、「魅力ある高校づくり」を進めてきました。

また、平成30年（2018年）4月には、従来の定時制・通信制の枠組みに捉われない「新しいタイプの高等学校」を広島県教育委員会と広島市教育委員会が共同で整備・開校する予定です。

こうした取組は、「広島市立高校（全日制）の将来構想（第Ⅰ期）」（平成18年（2006年）3月策定）、「広島市ハイスクールビジョン」（平成22年（2010年）3月策定）及びその行動計画である「ハイスクールビジョン推進プログラム」等において方向性が示され、関係者のたゆまぬ努力により一つ一つ実現したものです。

「広島市立高校（全日制）の将来構想（第Ⅰ期）」の策定以降、市立高等学校を取り巻く状況は大きく変化しています。生産年齢人口の急減、グローバル化・多極化の荒波に挟まれた厳しい時代を迎え、世の中の流れは予想するよりも遙かに早く、将来は職業の在り方も様変わりしている可能性が高いとされています。

この度、こうした予測困難な時代をたくましく生き抜く人材を育成するため、広島市の高等学校教育が目指す人間像を明らかにするとともに、20年後の市立高等学校の姿を視野に入れた将来構想となる「広島市ハイスクールビジョン」を策定しました。

今後、この「広島市ハイスクールビジョン」に基づき、各市立高等学校の魅力づくりが一層推進されるよう取り組んでまいります。

1 ハイスクールビジョンの策定に当たって

本市教育委員会では、平成27年度（2015年度）の20年後となる平成47年度（2035年度）以降、生徒数が大幅に減少するとの推計に基づき、20年後の市立高等学校の姿をイメージしつつ、これまで推進してきた「魅力ある高校づくり」の一層の充実に取り組むため、市立高等学校の将来構想となる「広島市ハイスクールビジョン」（以下「本ビジョン」という。）を策定し、今後の本市高等学校教育の基本方針を示します。

1 計画期間

平成28年度（2016年度）から平成37年度（2025年度）までの10年間の計画期間とします。ただし、社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、5年経過した時点で必要に応じ、中間見直し（注：12ページ）を行います。

2 計画策定の経緯

本市の市立高等学校は、大正8年（1919年）に広島市商業補習学校（広島市立大手町商業高等学校（定時制））が設立されて以来、戦後の学制改革、昭和50年代以降の生徒急増に伴う新設等を経て、国際平和文化都市広島が設置する高等学校として、市民のニーズや期待に応え、社会の発展に寄与する有為な人材を輩出してきました¹。

本市教育委員会では、社会の変容に応じた教育の充実に向けた改善を進め、生徒の興味・関心等の多様化を踏まえた、普通科高校への特色あるコースの設置、専門高校の学科改編、中高一貫教育校の設置等、「魅力ある高校づくり」を進めてきましたが、これらの取組の成果と課題を踏まえ、引き続き全日制高等学校の教育改革を推進するため、当面の課題に対応した第Ⅰ期将来構想を、平成18年（2006年）3月に策定しました。

その後、改正教育基本法の成立（平成18年（2006年）12月）に伴う関連法規等が整備され、教育の目的や目標等が明確化されるとともに国においては教育振興基本計画が閣議決定されました。こうした状況の下、第Ⅱ期将来構想として、今後の市立高等学校の在り方や新たな学校づくりの基本的な指針となる「「広島市ハイスクールビジョン」～広島市立高等学校（全日制）の将来構想～」を平成22年（2010年）3月に策定しました。

一方、定時制高等学校については、「広島市立定時制高等学校将来構想検討委員会最終報告」平成15年（2003年）3月の提言に基づき、市立広島工業高等学校における工業技術科への学科改編や2年次からのコース選択制の導入、市立大手町商業高等学校におけるビジネス創造科への学科改編や昼間部の設置など、「魅力ある高校づくり」に取り組んできました。

¹ 「広島市立高等学校・中等教育学校の変遷」（14ページ参照）

平成30年(2018年)4月に開校を予定している、従来の定時制・通信制の枠組みに捉われない「新しいタイプの高等学校」は、当該提言を踏まえたもので、その理念は、広島市教育委員会と広島県教育委員会が平成26年(2014年)9月に策定した、「新しいタイプの高等学校の整備に係る基本構想」の中に生かされており、今後は、本ビジョンとの融和を図りながら、引き続き「魅力ある高校づくり」に取り組むこととなります。

また、計画期間中の、平成34年度(2022年度)から段階的な改訂が予定されている学習指導要領の基本方針等も勘案する必要があります。

以上のことを踏まえ、市立高等学校が目指す人間像や、20年後の姿をイメージした上で、市立高等学校の在り方や新たな学校づくりの基本的な指針を一体的に示していく必要があります。

3 本ビジョンの位置付け

本ビジョンは、「広島市基本構想」、「広島市基本計画²」、「広島市21世紀教育改革推進総合プラン³」及び「広島市教育振興基本計画⁴」に基づくもので、広島市民のニーズと期待に応える「魅力ある高校づくり」を推進するための指針となるものです。

4 ハイスクールビジョン推進プログラムの策定

本ビジョンに基づき、各市立高等学校における学科、コース等の特色を生かした具体的な行動計画となる「ハイスクールビジョン推進プログラム」(計画期間:平成28年度(2016年度)から平成37年度(2025年度)までの10年間)を策定します。

² 同計画は、市の将来の都市像とそれを実現するための施策の構想などを定める基本構想を達成するために、施策の大綱を総合的・体系的に定めた長期計画である。

³ 同プランは、広島の独自性を発揮し、市民に信頼され子どもが躍動する「広島らしい新しい教育」を創造するため、平成11年(1999年)~平成12年(2000年)における同プラン検討会議の議論を踏まえて策定され、本市教育改革の在り方や目指すべき方向性等を示している。

⁴ 同計画は、教育基本法第17条2項の規定により定める本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画である。

II 広島市域内の高等学校の20年後の姿を見据えた今後の取組

1 今後15年後、20年後の見通し

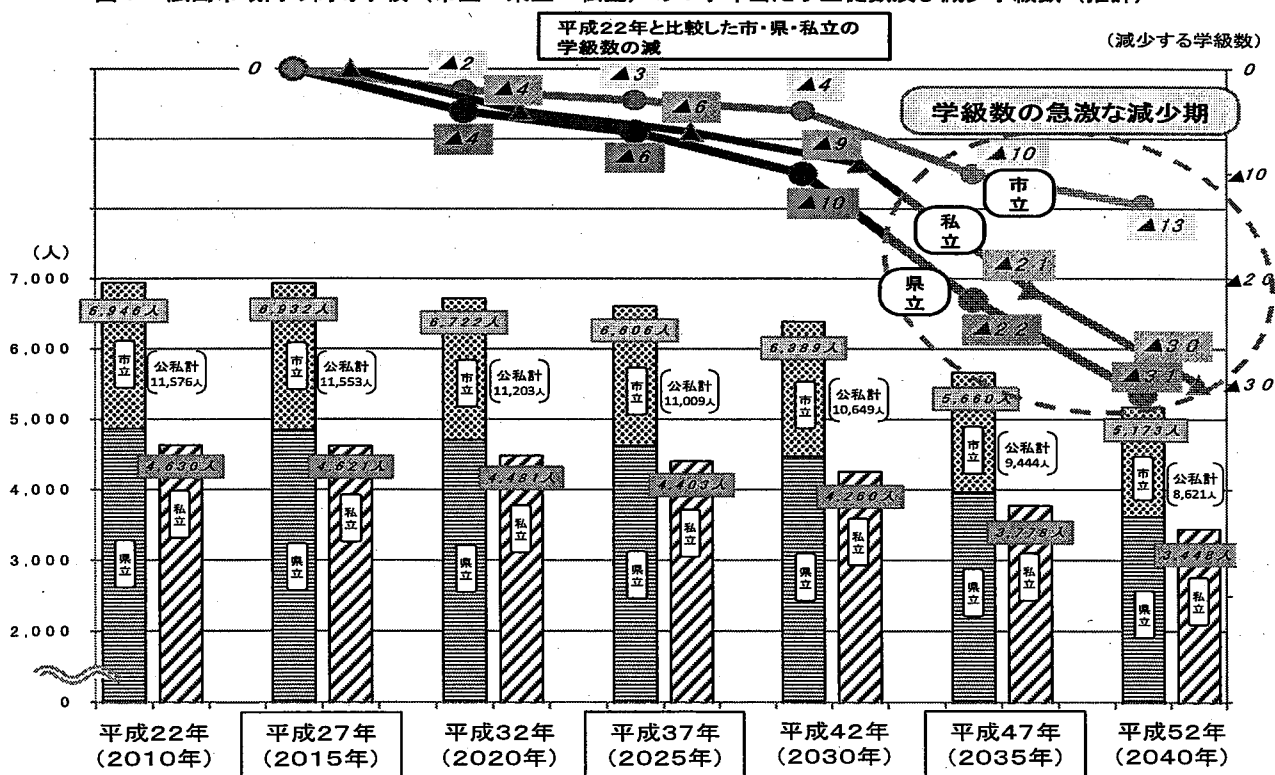
将来、これまで以上の少子高齢化社会の進展が想定される中、本ビジョンを策定するに当たっては、広島市域内における今後の高等学校生徒数の動態を把握しておく必要があります。図1は、「国立社会保障・人口問題研究所」が公表した「日本の地域別将来推計人口」を基にした広島市域内の高等学校（市立・県立・私立）の1学年当たり生徒数及び減少学級数の推計値を表したものです。

棒グラフは、県立の生徒数と市立の生徒数を積み上げたものと私立の生徒数の推移を示しています。

平成42年（2030年）から平成47年（2035年）の生徒数の推移をみると、公立で6,389人から5,660人と729人の減少、私立で4,260人から3,778人と482人の減少、と大きく落ち込んでいます。

また、折れ線グラフは、平成22年（2010年）と比較した市立・県立・私立の学級数の減を示したもので、平成42年（2030年）以降「学級数の急激な減少期」を迎えることがわかります。

図1 広島市域内の高等学校（市立・県立・私立）の1学年当たり生徒数及び減少学級数（推計）



1 15～19歳人口の出典：日本の地域別将来推計人口（平成25年（2013年）3月推計 国立社会保障・人口問題研究所）
 2 上記グラフは、全ての中学校卒業生が高等学校に進学し、市内への流入と市外への流出は同数と仮定して積算している。
 （広島市における進学率は、平成26年（2014年）5月1日現在で97.8%である。）
 ※「広島市内の高等学校の入学定員比率」を、公立：私立でおおむね6：4、公立のうち県立：市立でおおむね7：3と仮定して算出

こうしたデータに基づき、平成27年度（2015年度）の15年後、20年後の見通しをまとめると、

- 生徒数の減少により、学級数が適正規模を下回ると、学校運営上の課題が生じ、活力ある教育活動の展開に支障をきたす
- 15年後の平成42年度（2030年度）頃までは、1学年当たりの学級数を調整することにより、市域内の高等学校における活力ある教育活動を、おおむね維持することができる
- 20年後の平成47年度（2035年度）頃以降は、1学年当たりの学級数が大幅に減少することから、市域内の高等学校における活力ある教育活動を維持することが困難になる

といった状況が考えられます。

2 新しい時代にふさわしい高等学校教育

市立高等学校においては、「知識基盤社会」を担い、国際平和文化都市の理念の実現に寄与する人材育成を目指し、共通の取組として「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「広島らしい教育の推進」等に積極的に取り組んできました。

本市教育委員会では、市立高等学校に対する現状を把握するため、平成28年（2016年）5月に、中学校・高等学校の生徒・保護者等を対象にアンケート調査⁵を実施しました。

その結果、普通科の高校生及びその保護者からは、「大学進学に対応した指導」や「部活動」等について、高い満足度が示されており、専門学科の高校生及びその保護者からは、「特色ある専門的な授業」、「就職に対応した指導」、「資格取得に関する指導」等について高い満足度が示されています。また、中学生及びその保護者は、「国際、語学教育」、「数学、理科などの理数教育」、「情報教育」等のニーズが高く、それらに重点を置いた指導に期待が寄せられています。

一方で、中央教育審議会の答申では、日本が成熟社会を迎え、知識量のみを問う「従来型の学力」や思考を伴わない協調性はますます通用しにくくなる中、現状の高等学校教育は知識の暗記・再生に偏りがちで、十分な知識・技能とそれらを基盤にして答えのない問題に自

⁵ 市立高等学校への期待や満足度に係るアンケート調査を実施し、現状を把握することにより、「広島市立高等学校将来構想検討会議」における広島市ハイスクールビジョン策定のための参考資料とするため、本市の中学生及びその保護者1,000人、高校生及びその保護者1,000人、市立高等学校の教員450人を対象に実施（15ページ参照）

ら答えを見いだしていく思考力・判断力・表現力や、主体性を持って多様な人々と協働する態度など、真の「学力」が十分に育成・評価されていないといった指摘⁶もあります。

本市では、学科ごとの将来構想を掲げ、その実現に努めるとともに着実な成果を積み重ねてきましたが、上記のような懸念を払拭し、新しい時代にふさわしい高等学校教育の実現を図るためには、高等学校教育を通じて育むべき力を、今一度捉え直して見る必要があります。

とりわけ、平成34年度（2022年度）から段階的に移行していくことが予定されている高等学校学習指導要領の内容をはじめ、平成31年度（2019年度）から導入予定の高等学校基礎学力テスト（仮称）や平成32年度（2020年度）導入予定の大学入学希望者学力評価テスト（仮称）の趣旨を踏まえ、改めて、必要な教育内容、学習・指導方法、評価方法、教育環境へと大きく転換を図る必要があります。

また、本市は、経済面や生活面で深く結びついている24の近隣市町からなる広島広域都市圏ひいては中四国地方の発展をけん引していく中枢都市としての役割を果たすべき立場にあり、本市を中心とした広域都市圏において、産業や医療・福祉、まちづくりなどの分野で地域社会に根ざし郷土の発展に貢献できる人材の育成が求められています。

こうしたことを踏まえ、平成27年（2015年）7月に設置された「広島市総合教育会議⁷」においては、少子化やグローバル化などの時代の変化を見据え、広島広域都市圏内における公立・私立間の役割分担の在り方等について長期的な視点から取り組む必要性などに関する議論が行われています。

3 20年後の姿を見据えた今後の取組

これからの本市の高等学校教育の一層の充実を図るためには、グローバル化や国の教育制度改革などを踏まえ、本市における県立・私立も含めた高等学校教育の在るべき姿を今一度捉え直し、20年後の市立高等学校の姿をイメージする必要があります。その上で、今後10年間程度は、まず、「魅力ある高校づくり」のソフト面の充実に向けて、探究を中心とし、主体的、対話的な「豊かで深い学び」による授業の実現やカリキュラム・マネジメント⁸の推進のほか、教員の資質向上等に取り組めます。

また、併せて、市域の周辺部を含む県立・市立・私立学校の設置主体が、それぞれの特性を生かした多様な教育を提供しつつ公立・私立間及び県・市間の機能分担の在り方について幅広く議論する場を設定し、検討を進めます。

⁶ 「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について ～すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために～（答申）平成26年（2014年）12月22日」の3ページ（高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜における課題）参照

⁷ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4により、平成27年（2015年）7月設置

⁸ 学校の教育目標実現に向けて子どもや地域の実情を踏まえ、教育課程（カリキュラム）を編成・実施・評価し、改善を図るPDCAサイクルを推進すること。

その後の平成38年度（2026年度）以降の10年間程度は、この検討結果を踏まえ、公立・私立間及び県・市間の質的・量的な機能分担を図り、各学科、コースの入学定員の調整や学校、学科の統廃合を行いつつ、より適正な市立高等学校の校数や規模、学科、コースを構築し、さらに質を重視した「魅力ある高校づくり」に取り組みます。

III ハイスクールビジョンの実現に向け、目指す人間像と重点を置く教育

1 広島市の高等学校教育が目指す人間像

本市は、これからの都市づくりの担い手である広島の子どもたちを「心身ともにたくましく思いやりのある人」として育成していくことを基本理念とし、基礎・基本をしっかりと身に付けることを基盤に、規範性、感性、体力、コミュニケーション能力の育成を柱とする広島らしい新しい教育を展開してきました。今後は、こうした教育を更に充実させながら、命を大切に、平和で持続可能な社会を創造していく力をもつ子どもを育てていくことが求められています。こうしたことから、新しい時代にふさわしく、人間力を高める高等学校教育を通じて育成する人間像を、

「志高く、世界に誇れるまち Hiroshima を創造する人材」

とし、具体的な人間像のイメージとして、「平和な社会の発展に寄与しグローバル社会で活躍できる人材」や「郷土を愛し本市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材」の育成を目指すこととします。

2 重点を置く教育

本市では、その具体的な教育の在り方等について、次に示すように「共通性の確保」と「多様化への対応」の観点を軸とする高等学校教育を提供する必要があります。

(1) 全ての生徒が共通して身に付けるべき資質・能力の育成 <共通性の確保>

ア 市民社会の一員として参画し貢献する意識の醸成（人格形成・自己実現）

「共通性の確保」の観点から、まず、義務教育段階の取組の成果を発展させ、確かな学力、豊かな心、健やかな体をはじめとして、多角的・多面的に吟味し見定めていく力（いわゆる「クリティカルシンキング」）や創造力、情報活用能力、ICTを理解し使いこなす科学的素養など、これからの時代に求められる資質・能力を育みます。その上で、主体性や多様性を尊重する態度、他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、平和希求の心、社会に貢献する意欲といった資質・能力を育みます。

また、知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育みます。

このような教育を提供することにより、生徒一人一人が自己実現を図り、幸福で充実した人生を送れるようにします。

イ 社会・環境の変化への適応に必要な力の育成

今後、少子高齢化は更に進行し、平成27年度（2015年度）の20年後となる平成47年度（2035年度）には65歳以上の割合が総人口の3分の1を超える一方、生産年齢人口は総人口の2分の1以下まで減少すると見込まれています。

また、グローバル化や情報化が進展する社会の中では、先を見通すことが難しい状況が生じています。子どもたちが将来就くことになる職業の在り方についても、技術革新等の影響により大きく変化すると予測されており⁹、これらに対応するための資質・能力を育みます。

また、将来にわたり活力ある社会を持続・発展させるため、これまで以上により重点的に一人一人の個性を生かしながら人間力を高め、社会の担い手として必要な力を育みます。

(2) 多様な学習ニーズへのきめ細かな対応 <多様化への対応>

一人一人の生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばす「多様化への対応」の観点からは、学び直しや優れた才能・個性を有する生徒への指導・支援など、様々な幅広い学習ニーズを踏まえ、各高等学校が、それぞれの学校や学科の特色に応じた魅力ある教育課程を編成・実施します。

さらに、各高等学校が生徒の実態等を考慮して、生徒の豊かで深い学びを引き出すよう、カリキュラム・マネジメントを確立した上で、教育課程を軸にした授業改善及び組織運営の改善に一体的・全体的に迫ることのできるよう、豊かで深い学びとカリキュラム・マネジメントの連動を図ります。

こうした多様化への対応を実効性のあるものとするために、国の施策や全国の高等学校等での先進的な取組における成果等も踏まえながら、生徒一人一人の多様な進路に応じた教育に重点を置くこととします。

なお、こうした教育に重点を置くに当たっては、豊かな心をはぐくむ取組、相談体制、生徒指導などの一層の充実に努めます。

⁹ 「子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」との予測（2011年、ニューヨーク市立大学 キャシー・デビッドソン教授）や、「今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」との予測（2013年「雇用の未来」、オックスフォード大学 マイケル・A・オズボーン准教授）などがある。

3 共通性を確保した上で提供する多様な教育の方向性

(1) 全日制課程

ア 普通科

将来、多様なキャリアを形成して国際社会で活躍する人材や、地域社会に根ざし郷土に貢献する人材を育成します。

大学や専修学校等を卒業後、グローバル・リーダーとなる人材のほか、培った技術や知識を地域の産業、まちづくり、観光の振興、福祉や教育の充実、情報化の推進等のために還元することのできる人材を育成します。その際、生徒の志やスキルに応じて自ら進路を選択し、拓くために必要な力を身に付けさせます。

イ 普通科 コース

「ア 普通科」の趣旨を踏まえつつ、大学との連携や、その道に優れた講師の招へい等により、生徒個々の才能を引き出しながら専門的技能や競技力を向上させ、各分野において国内外で活躍する人材を育成します。

ウ 専門学科

地域経済の変化に即応し、地元製造業やサービス産業等のニーズに応じた、地域産業界の中核となるスペシャリストを企業と連携して育成します。

(2) 定時制課程及び通信制課程

課程の枠組みに捉われないフレキシブルな学びの実現を図り、再チャレンジや学び直しが可能で、他者と協力・協働して社会に参画し、自ら主体的にキャリア形成できる人材を育成します。

(3) 中高一貫教育校

6年間を通して高度な英語教育等を提供し、大学卒業後には、英語によるコミュニケーション能力や高い理想と品格を備えたグローバル・リーダーとして国内外で活躍する人材を育成します。

おわりに

本ビジョンは、広島市立高等学校将来構想検討会議（市立高等学校関係者と教育委員会事務局職員で構成）において、有識者からの提言やパブリックコメントを踏まえ、今後の市立高等学校の在り方や新たな魅力づくり等について検討を深め、市立高等学校の将来構想を示す基本的指針として取りまとめられました。

今後は、本ビジョンに基づき、平成28年度（2016年度）から平成37年度（2025年度）までの10年間を対象とした「ハイスクールビジョン推進プログラム」を策定の上、計画的に取組を推進し、本ビジョンに示す市立高等学校の姿の実現に向け、市民の期待に応える「魅力ある高校づくり」の一層の充実を図っていきます。

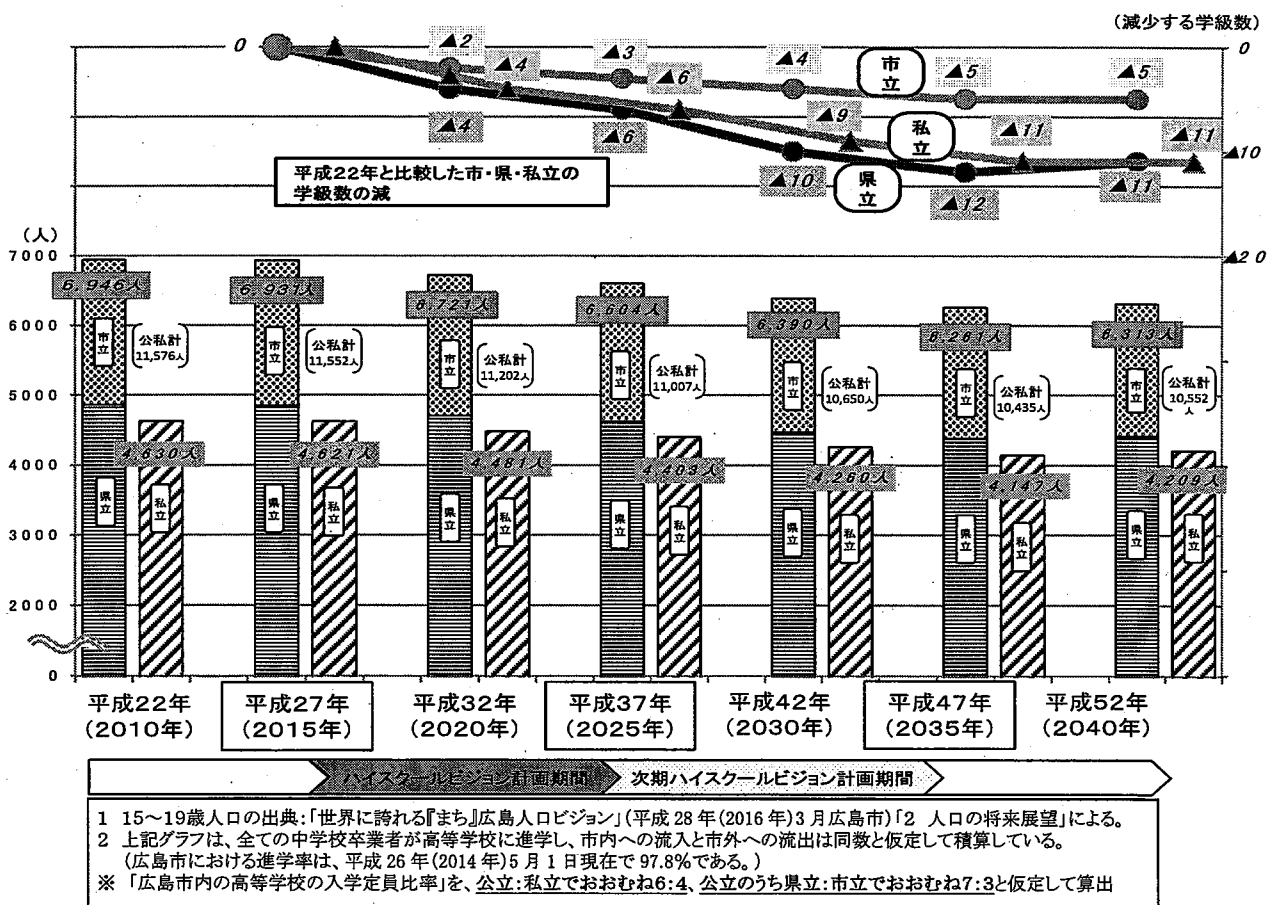
(注)

平成28年(2016年)3月に広島市が公表した「世界に誇れる『まち』広島」人口ビジョン¹⁰によると、本市が、「目指すべき将来の方向」に沿った施策を展開し、広島広域都市圏ひいては中四国地方の発展をけん引していく中枢都市であり続けたときの「人口の将来展望」としては、人口110万人を維持することになると示されています。

この展望を基に、図2に「世界に誇れる『まち』広島人口ビジョン」「2 人口の将来展望」を参照した広島市域内の高等学校(市立・県立・私立)の1学年当たり生徒数及び減少学級数の推計値を表すと、平成42年(2030年)以降の生徒数及び学級数は微減に止まり「学級数の急激な減少期」は見られなくなります。

したがって、本ビジョンの中間見直しに当たっては、「世界に誇れる『まち』広島」人口ビジョンに示された本市の「目指すべき将来の方向」に沿った施策の展開による人口動態、年少人口等の変動状況を的確に把握しておく必要があります。

図2 「世界に誇れる『まち』広島人口ビジョン」(平成28年(2016年)3月広島市)「2 人口の将来展望」を参照した広島市域内の高等学校(市立・県立・私立)の1学年当たり生徒数及び減少学級数(推計)



¹⁰ 来るべき人口減少に備えるため、広島市が示した、目指すべき将来の方向と人口の将来展望

《 参考資料 》

| | ページ |
|-------------------------------|-----|
| ○ 広島市立高等学校・中等教育学校の変遷 | 14 |
| ○ 平成28年度広島市立高等学校に関するアンケートについて | 15 |
| ○ 広島市立高等学校将来構想検討会議設置要綱 | 28 |

広島市立高等学校・中等教育学校の変遷

| 時期 | 年度 | 区分 | 基町 高等学校 (全日制) | 舟入 高等学校 (全日制) | 広島商業 高等学校 (全日制) | 大手町商業 高等学校 (定時制) | 広島工業高等学校 | | 安佐北 高等学校 (全日制) | 沼田 高等学校 (全日制) | 美鈴が丘 高等学校 (全日制) | 広島中等 教育学校 (全日制) | |
|----|------------------|----------------|---------------------|---------------------|-----------------------|---------------------------------------|-----------------------|--|----------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|
| | | | | | | | (全日制) | (定時制) | | | | | |
| 戦前 | 大正8年 (1919年) | 創設 | | 広島市 高等学校 | 広島市 商業学校 | 広島市 商業補習夜学校 同年 商業補習学校 と改称 | | | | | | | |
| | 大正10年 (1921年) | | | | | | | | | | | | |
| | 大正13年 (1924年) | | | | | | 広島市 商業専門学校 | 広島市 工業専門学校 | | | | | |
| | 昭和10年 (1935年) | | | | | 広島市立商業 専門学校 | 広島市立商業 専門学校 | 広島県広島市立 工業専門学校 | | | | | |
| | 昭和12年 (1937年) | | 再編 | | | | 広島市 第二商業学校 | 広島市 工業学校 | | | | | |
| | 昭和16年 (1941年) | | 名称 変更 | | | | 広島市立 第二商業学校 | 広島市立 第二工業学校 | | | | | |
| | 昭和17年 (1942年) | | | 広島市立 中学校 | 広島市立 高等女子学校 | 広島市立 第一商業学校 | | | | | | | |
| | 昭和18年 (1943年) | | | | 広島市立 第一高等女子学校 | 広島市立 造船工業学校 | | | | | | | |
| | 昭和23年 (1948年) | | 学制 改革 | 広島市立 城北高等学校 | 広島二葉 高等学校 | 広島市 商業高等学校 | 広島市 商業高等学校 | | 広島市 中央工業 高等学校 | | | | |
| | 昭和24年 (1954年) | | | 広島県 広島基町 高等学校 | 広島県 広島舟入 高等学校 | 新晋高等学校・ 基町高等学校両 校の商業科に編 入 | 広島県 広島基町 高等学校 | 広島県 広島千田 高等学校 | | | | | |
| 戦後 | 昭和29年 (1954年) | 再編 名称 変更 | | | | 広島県 広島市 商業高等学校 | 広島県 広島市 商業高等学校 | | | | | | |
| | 昭和34年 (1959年) | | | | 広島県 広島市 商業高等学校 | 広島県 広島市 商業高等学校 | | | | | | | |
| | 昭和39年 (1964年) | | | | | | 広島県 広島市 工業専門学校 | | | | | | |
| | 昭和55年 (1980年) | | | 広島市立 基町高等学校 | 広島市立 舟入高等学校 | 広島市立 広島商業 高等学校 | 広島市立 大手町商業 高等学校 | 広島県 広島市 工業専門学校 広島市立広島工 業高等学校 | | | | | |
| | 昭和59年 (1984年) | | 新設 廃止 | | | | | | | 広島市立 安佐北高等学校 | | | |
| | 昭和60年 (1985年) | | | | | | | | | | 広島市立 沼田高等学校 | | |
| | 昭和63年 (1988年) | | | | | | | | | | | 広島市立 美鈴が丘 高等学校 | |
| | 平成26年 (2014年) | | | | | | | | | | | | 広島中等 教育学校 |

平成28年度広島市立高等学校に関するアンケートについて

1 目的

広島市立高等学校への期待や満足度に係るアンケート調査を実施し、現状を把握することにより、「広島市立高等学校将来構想検討会議」における広島市ハイスクールビジョン策定のための参考資料とする。

2 対象

| | |
|--------------------------------------|------------|
| (1) 市立高等学校第2学年の生徒 (各校1学級、各コース1学級) | 500人(13学級) |
| (2) (1)の保護者 | 500人 |
| (3) 市立高等学校の教員 | 450人 |
| (4) 市立中学校第3学年の生徒(各区2校程度1学級) | 500人(16学級) |
| (5) (4)の保護者 | 500人 |
| 合計 | 2,450人 |

3 実施時期

平成28年5月

4 アンケート結果の概要

- 普通科の高校生やその保護者からは、「大学進学に対応した指導」や「部活動」等について、高い満足度が示されており、専門学科の高校生やその保護者からは、「特色ある専門的な授業」、「就職に対応した指導」、「資格取得に関する指導」等について高い満足度が示されている。

市立高等学校に対する高校生やその保護者のニーズは、「学力」、「進路指導」、「資格取得」、「就職指導」、「コミュニケーション能力」等のように生徒、保護者とも高いものもあれば、「学校行事の活性化」のように生徒で高いもの、グローバル化や情報化に対応した「国際、英語教育」、「情報教育」のように保護者で高いものがあった。

教員についても、おおむね、これらのニーズに対応した結果が認められ、特に「理数教育」、「規範意識」、「少人数指導」が高かった。

- 高校生やその保護者の満足度は全般に高いといえるが、魅力的な高校にするためのニーズが生徒と保護者で異なっていたり、「情報教育」のように社会情勢の変化を受けた新たなニーズが生じたりするなど、市立高等学校に対するニーズは多種多様であることから、改めて市立高等学校においては、多様なニーズに対応した形で学習の機会を提供していく必要があると考えられる。
- 中学生とその保護者は、それぞれ高等学校と同様の傾向が認められた。ただし、中学校では、高等学校と比べて「学力が(生徒に)あっている」ことを重視して高等学校を選ぶとする回答が多かった。

また、中学生やその保護者は、「国際、語学教育」、「数学、理科などの理数教育」、「情報教育」等のニーズが高く、それらに重点を置いた指導に期待が寄せられている。

5 調査対象別結果

次頁以降に校種、対象者別に掲載

平成28年度広島市立高等学校に関するアンケート結果(高校:高校生)

| 調査対象者数(概算) | 総回答者数 | 回答率 |
|------------|-------|-------|
| 500 | 452 | 90.4% |

◎ 基礎データ

性別

| 項目 | 割合 |
|----|-------|
| 男 | 44.2% |
| 女 | 55.8% |

高校 100.0%

| 項目 | 割合 | 項目 | 割合 |
|-----------------|------|--------|--------|
| 基町 | 8.0% | 大手町商業 | 7.3% |
| 基町[創造表現] | 7.5% | 安佐北 | 12.2% |
| 舟入 | 7.7% | 沼田 | 8.0% |
| 舟入[国際コミュニケーション] | 8.4% | 沼田[体育] | 8.8% |
| 広島商業 | 8.8% | 美鈴が丘 | 8.6% |
| 広島工業[全日制] | 9.3% | | |
| 広島工業[定時制] | 5.3% | | 100.0% |

1 高校を選ぶときに重視したこと(複数回答)

| 項目 | 割合 |
|-----------------------------|-------|
| 1 学力が(生徒に)あっている | 36.7% |
| 2 就職に有利である | 17.0% |
| 3 興味のある学科・コース・科目がある | 34.7% |
| 4 中高一貫教育校である | 10.8% |
| 5 通学の便がよい | 27.7% |
| 6 大学等との連携による専門的な学習が充実している | 3.1% |
| 7 学費が安い | 11.5% |
| 8 資格取得に有利である | 19.7% |
| 9 制服が気に入っている | 8.6% |
| 10 学校行事や生徒会活動、部活動の内容が充実している | 23.5% |
| 11 施設や設備が充実している | 28.5% |
| 12 進学指導が充実している | 14.4% |
| 13 生徒指導が行き届いている | 1.8% |
| 14 その他 | 1.3% |

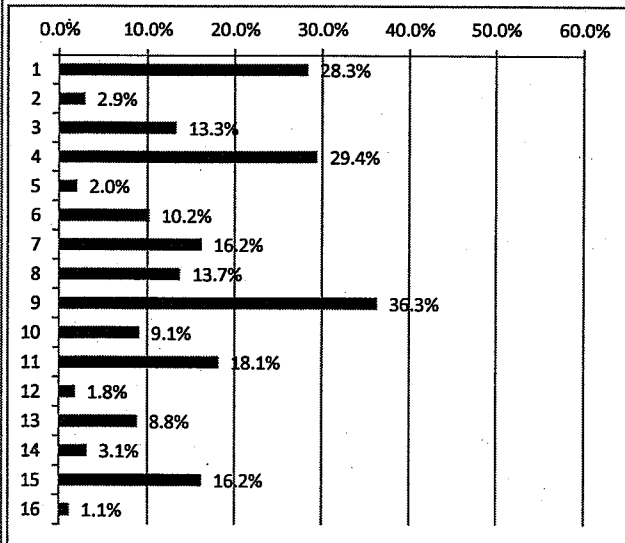
2 将来的な進学希望

| 項目 | 割合 |
|---------------|-------|
| 1 高校まで | 11.6% |
| 2 短大まで | 1.6% |
| 3 大学(大学校)まで | 59.1% |
| 4 大学院まで | 6.0% |
| 5 専門学校・専修学校まで | 8.9% |
| 6 よくわからない | 12.4% |
| 7 その他 | 0.4% |

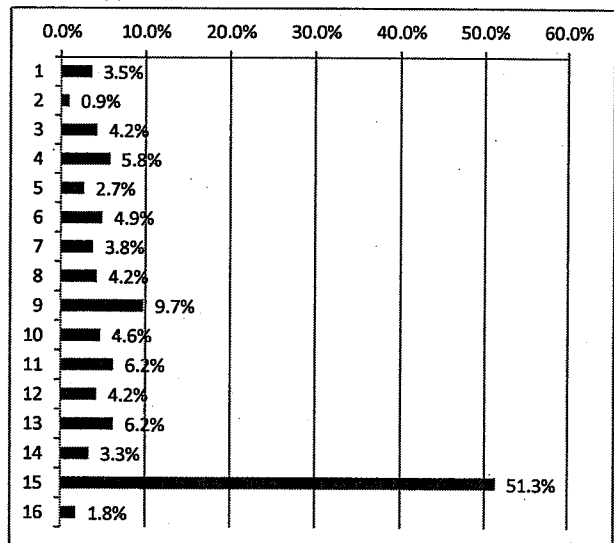
100.0%

3-1 高校に満足していること、不満なこと(高校生452名 複数回答)

満足



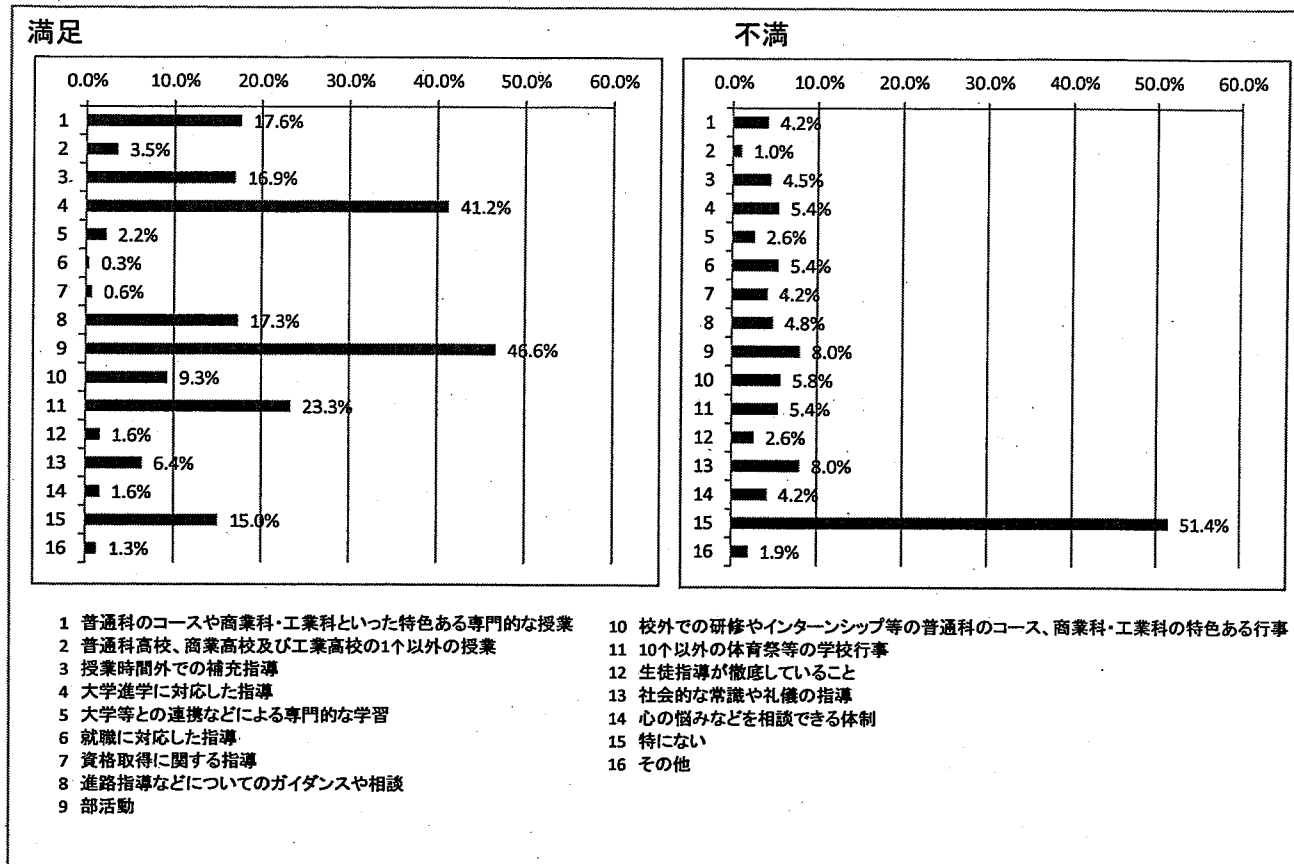
不満



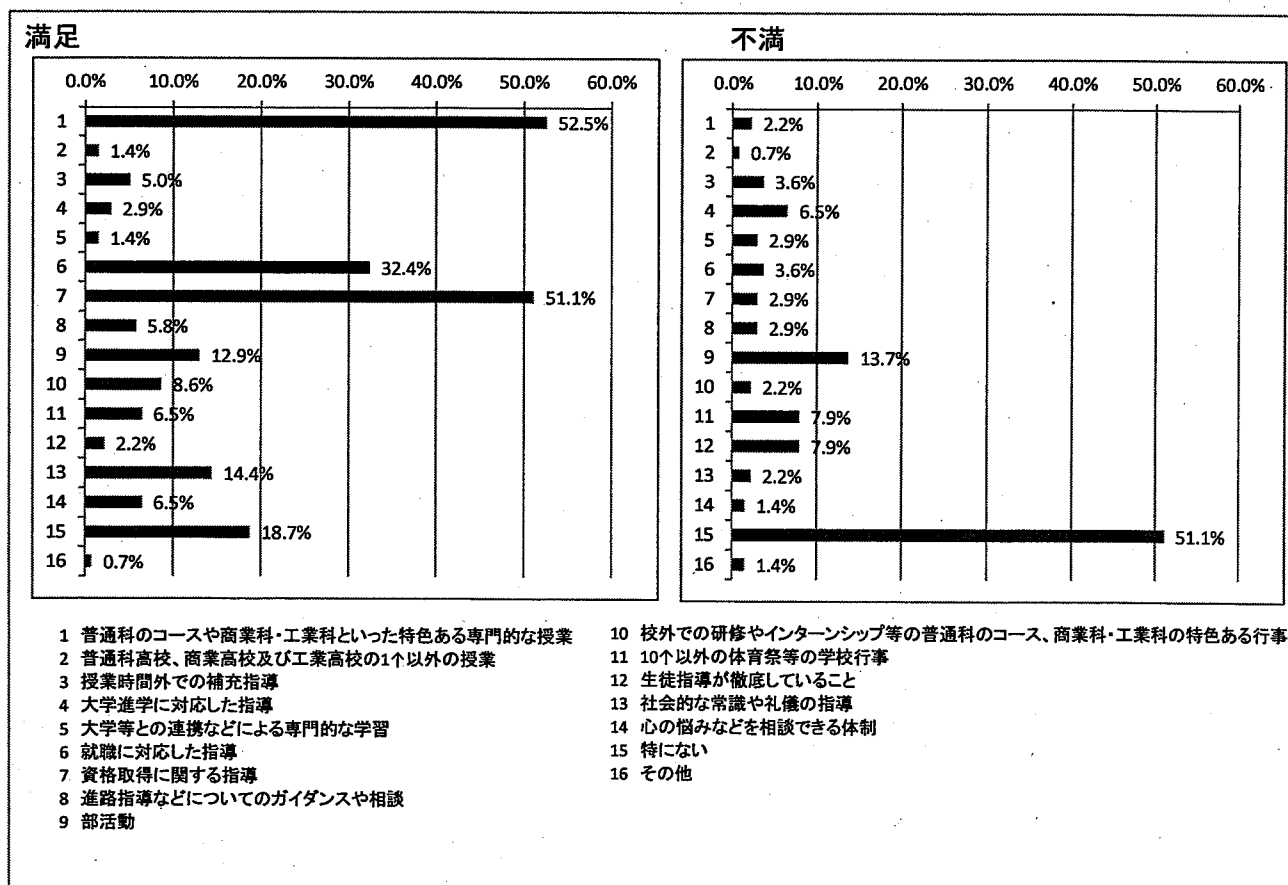
- 1 普通科のコースや商業科・工業科といった特色ある専門的な授業
- 2 普通科高校、商業高校及び工業高校の1個以外の授業
- 3 授業時間外での補充指導
- 4 大学進学に対応した指導
- 5 大学等との連携などによる専門的な学習
- 6 就職に対応した指導
- 7 資格取得に関する指導
- 8 進路指導などについてのガイダンスや相談
- 9 部活動

- 10 校外での研修やインターンシップ等の普通科のコース、商業科・工業科の特色ある行事
- 11 10個以外の体育祭等の学校行事
- 12 生徒指導が徹底していること
- 13 社会的な常識や礼儀の指導
- 14 心の悩みなどを相談できる体制
- 15 特になし
- 16 その他

3-2 高校に満足していること、不満なこと(普通科生徒313名 複数回答)

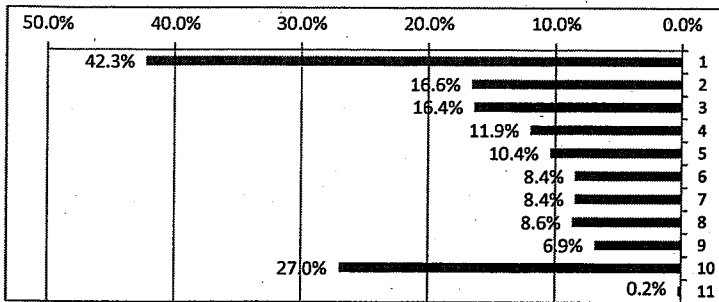


3-3 高校に満足していること、不満なこと(専門学科生徒139名 複数回答)



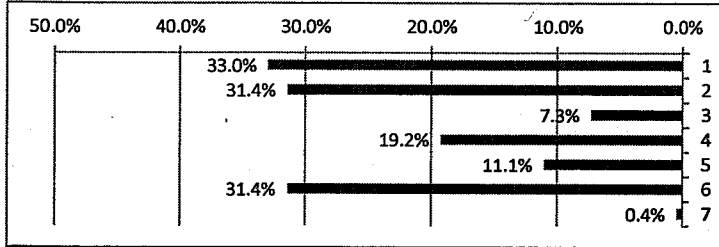
4 魅力ある高校にするための方策(複数回答)

① 重点を置く教育内容



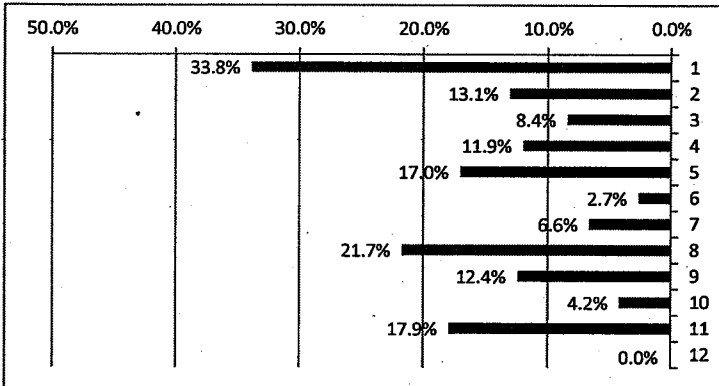
- 1 国際、語学教育
- 2 理数教育(数学、理科など)
- 3 文科系(国語、地理歴史、公民、人間学など)
- 4 芸術分野
- 5 健康・体育分野
- 6 工業教育
- 7 商業教育
- 8 情報教育
- 9 環境教育
- 10 よくわからない
- 11 その他

② 教職員



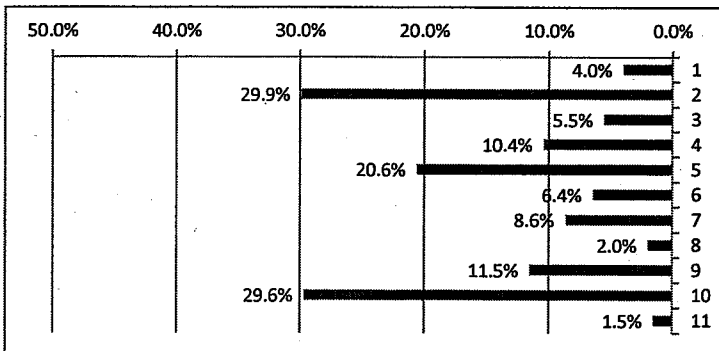
- 1 専門知識や指導力を持った部活動顧問の育成・配置
- 2 教科指導・大学受験・資格取得についての指導力の育成
- 3 生徒指導についての指導力の育成
- 4 進路指導についての指導力の育成
- 5 現在、新たな取組は必要ない
- 6 よくわからない
- 7 その他

③ 高校の取組



- 1 大学受験に向けた取組の強化
- 2 就職の充実に向けた取組の強化
- 3 最先端の技術・技能を習得させることを目指した取組の強化
- 4 資格取得を目指した指導の強化
- 5 疑問に思ったことについて、調べて考えをまとめるなど、生徒の興味や意欲を重視した授業の充実
- 6 生徒指導の強化
- 7 規範意識や道徳性を高める
- 8 学校行事の活性化
- 9 部活動指導の強化
- 10 現在、新たな取組の必要はない
- 11 よくわからない
- 12 その他

④ 高校の制度



- 1 中高一貫教育校の設置
- 2 多様な選択科目の中から自らの進路志望にあわせて選択して学習する学校への移行
- 3 普通科と専門科(商業・工業等)の併設
- 4 大学や専門学校への進学を目的としたコースの設置
- 5 40人未満で授業を行う少人数指導の充実
- 6 企業等が求めている技術・技能を身に付けられる学科への変更
- 7 普通科のコースの更なる専門化、学科化
- 8 普通科のコースの廃止
- 9 現在、新たな取組は必要ない
- 10 よくわからない
- 11 その他

[表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。]

平成28年度広島市立高等学校に関するアンケート結果(高校:保護者)

| 調査対象者数(概算) | 総回答者数 | 回答率 |
|------------|-------|-------|
| 500 | 366 | 73.2% |

◎ 基礎データ

性別

| 項目 | 割合 |
|----|-------|
| 男 | 10.6% |
| 女 | 89.4% |

高校 100.0%

| 項目 | 割合 | 項目 | 割合 |
|-----------------|-------|--------|--------|
| 基町 | 9.8% | 大手町商業 | 5.2% |
| 基町[創造表現] | 9.6% | 安佐北 | 10.9% |
| 舟入 | 9.0% | 沼田 | 9.0% |
| 舟入[国際コミュニケーション] | 3.8% | 沼田[体育] | 10.9% |
| 広島商業 | 7.9% | 美鈴が丘 | 10.7% |
| 広島工業[全日制] | 11.5% | | 100.0% |
| 広島工業[定時制] | 1.6% | | |

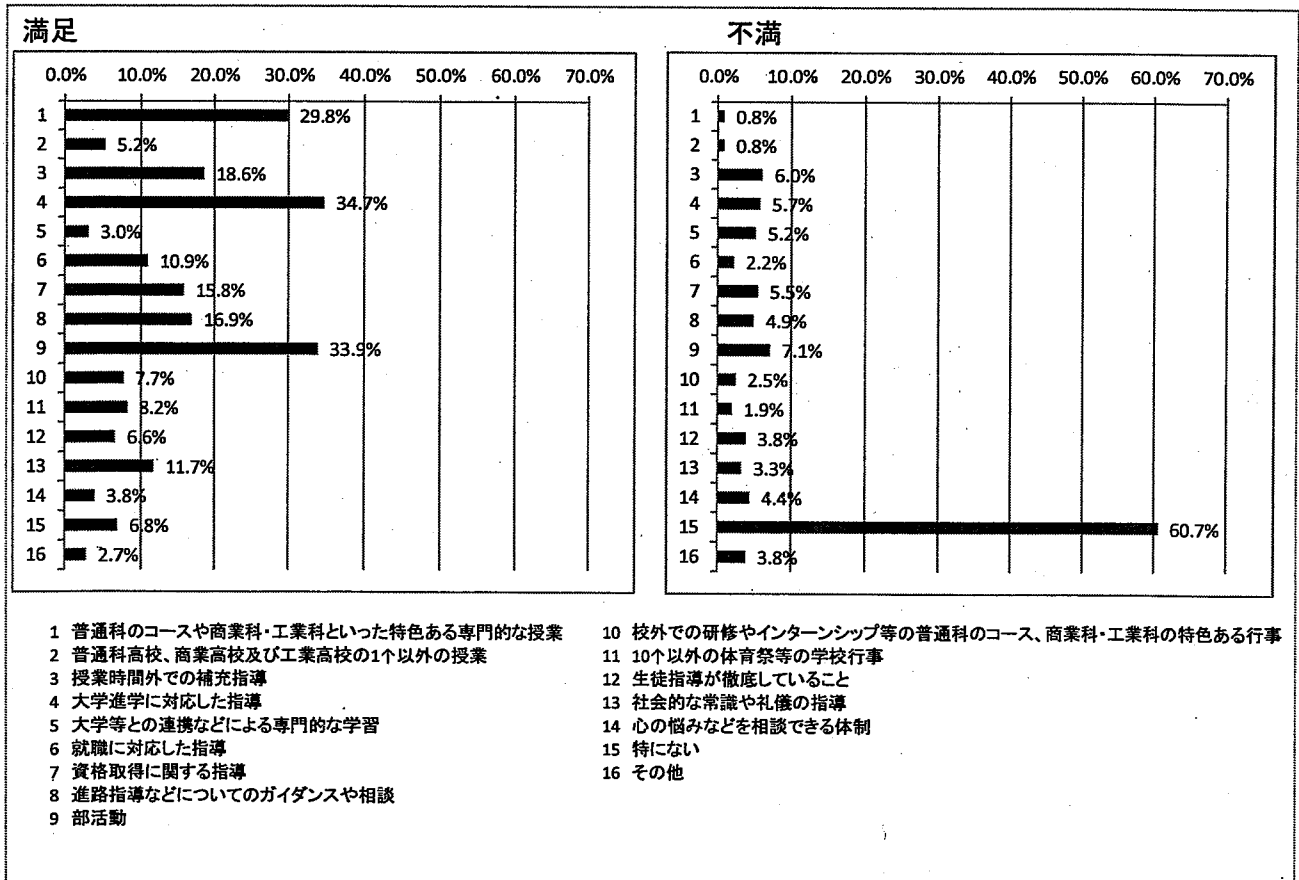
1 高校を選ぶときに重視したこと(複数回答)

| 項目 | 割合 |
|-----------------------------|-------|
| 1 学力が(生徒に)あっている | 47.3% |
| 2 就職に有利である | 15.3% |
| 3 興味のある学科・コース・科目がある | 36.3% |
| 4 中高一貫教育校である | 9.0% |
| 5 通学の便がよい | 31.1% |
| 6 大学等との連携による専門的な学習が充実している | 3.8% |
| 7 学費が安い | 22.1% |
| 8 資格取得に有利である | 13.7% |
| 9 制服が気に入っている | 3.0% |
| 10 学校行事や生徒会活動、部活動の内容が充実している | 18.6% |
| 11 施設や設備が充実している | 15.3% |
| 12 進学指導が充実している | 21.0% |
| 13 生徒指導が行き届いている | 3.8% |
| 14 その他 | 7.1% |

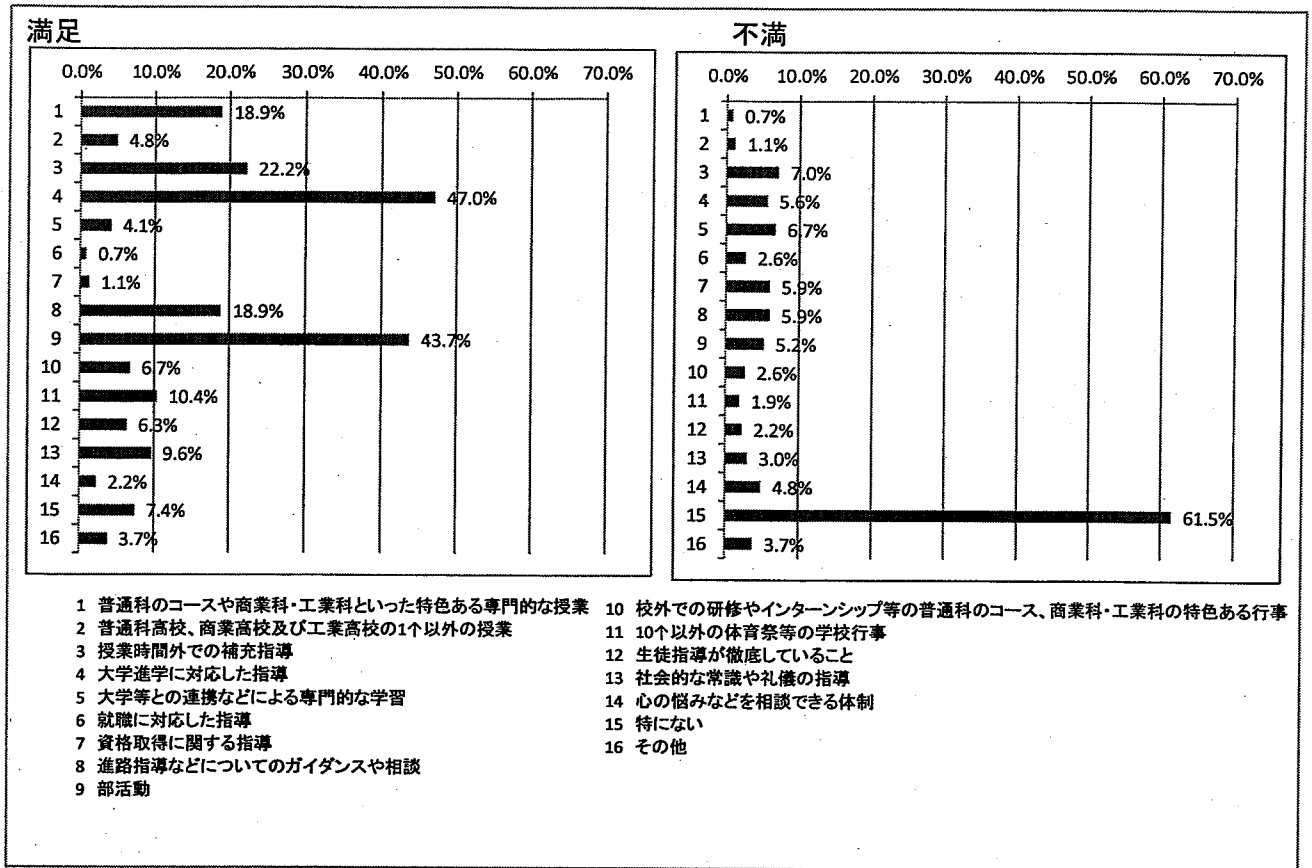
2 将来的な進学希望

| 項目 | 割合 |
|---------------|--------|
| 1 高校まで | 12.9% |
| 2 短大まで | 2.2% |
| 3 大学(大学校)まで | 66.8% |
| 4 大学院まで | 2.7% |
| 5 専門学校・専修学校まで | 5.8% |
| 6 よくわからない | 5.8% |
| 7 その他 | 3.8% |
| | 100.0% |

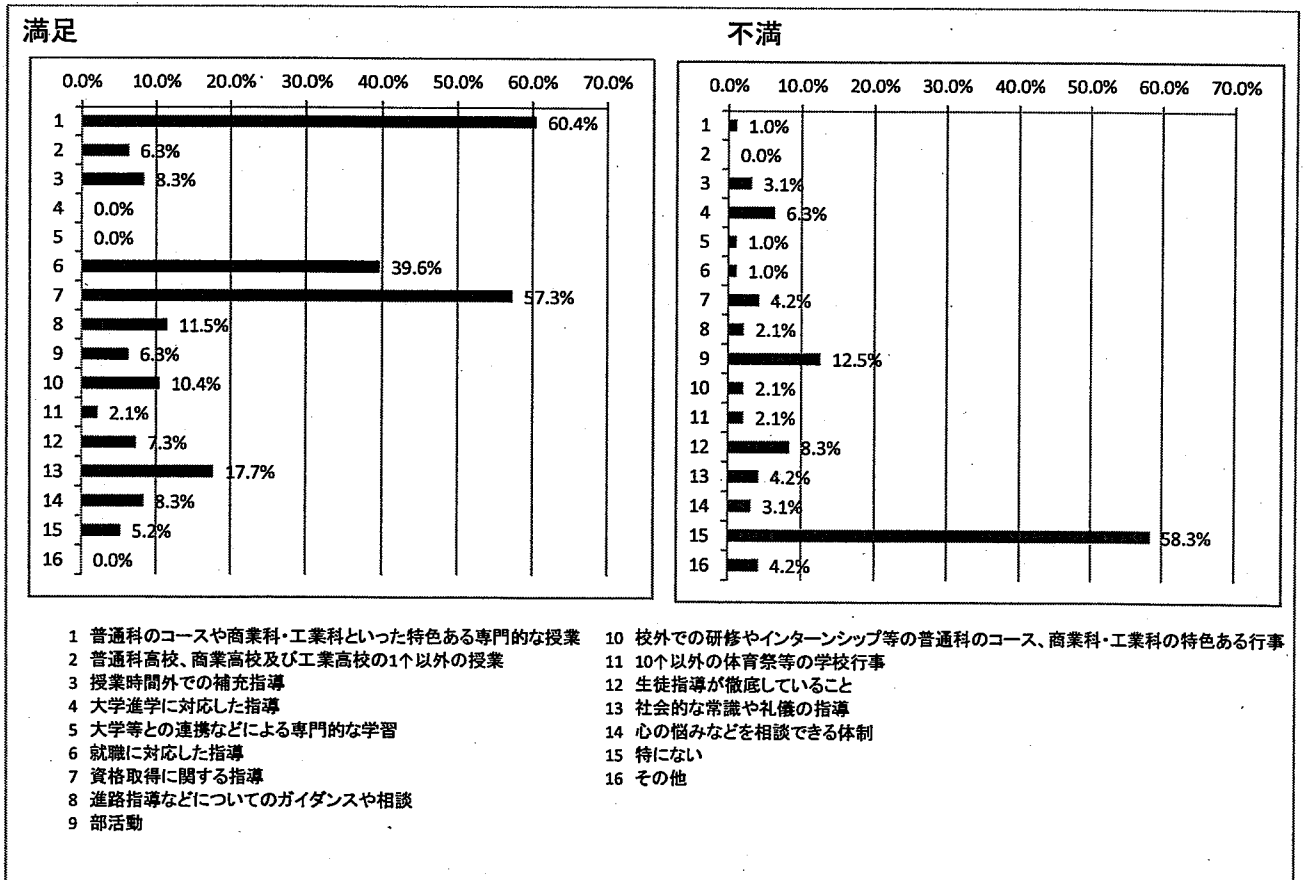
3-1 高校に満足していること、不満なこと(保護者366名 複数回答)



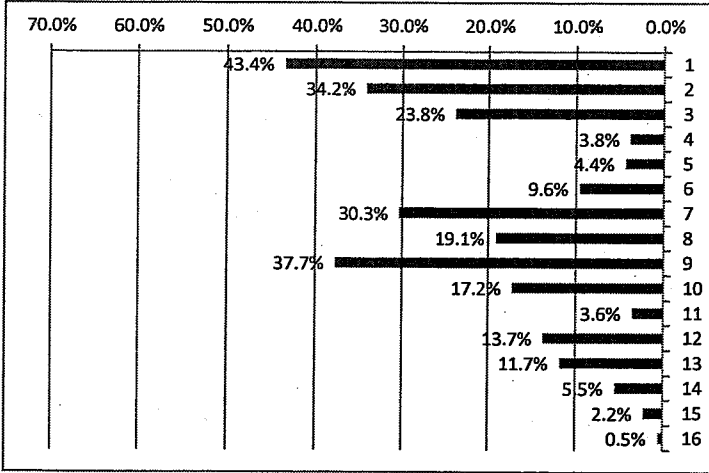
3-2 高校に満足していること、不満なこと(普通科保護者270名 複数回答)



3-3 高校に満足していること、不満なこと(専門学科保護者96名 複数回答)



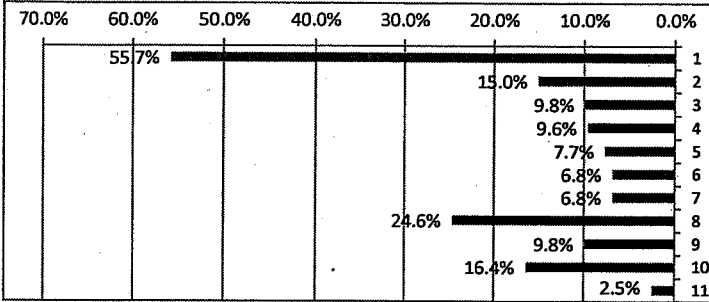
4 広島市立高校に期待される重要な役割(複数回答)



- 1 基礎的・基本的な学習を充実させること
- 2 難関大学も含め、大学進学を目指した学習を充実させること
- 3 職業人として、きちんと社会に参画できる人材を育成すること
- 4 郷土を愛し広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること
- 5 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと
- 6 企業との連携を深め、それぞれの生徒にあった就職指導を充実すること
- 7 自分なりの価値観を確立させ、人間としての方について考えを深める力を持たせること
- 8 規範意識を高め、社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと
- 9 様々な体験・経験を通して視野を広げること
- 10 社会生活を円滑に送るために、論理的に物事を考えて、相手に説明する力を育成すること
- 11 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を身につけさせること
- 12 国際社会で活躍するための語学力を中心としたコミュニケーション能力を育成すること
- 13 スポーツなどを通じ、心身の調和的な発達を図ること
- 14 部活動指導に力を入れ、県を代表し全国大会に出場できるようにすること
- 15 よくわからない
- 16 その他

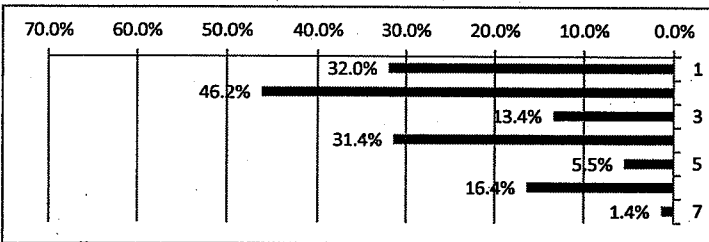
5 魅力ある高校にするための方策(複数回答)

① 重点を置く教育内容



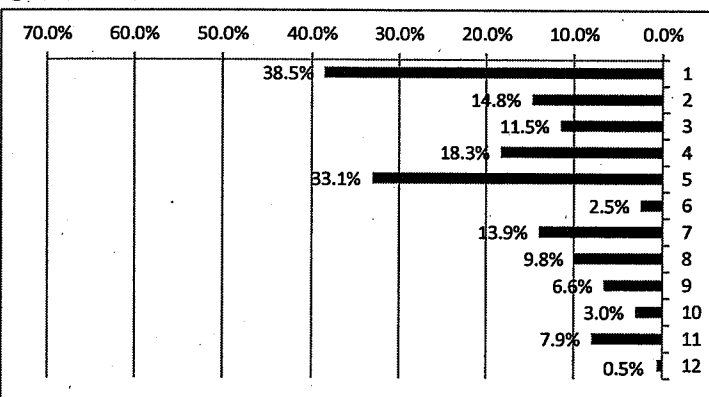
- 1 国際、語学教育
- 2 理数教育(数学、理科など)
- 3 文科系(国語、地理歴史、公民、人間学など)
- 4 芸術分野
- 5 健康・体育分野
- 6 工業教育
- 7 商業教育
- 8 情報教育
- 9 環境教育
- 10 よくわからない
- 11 その他

② 教職員



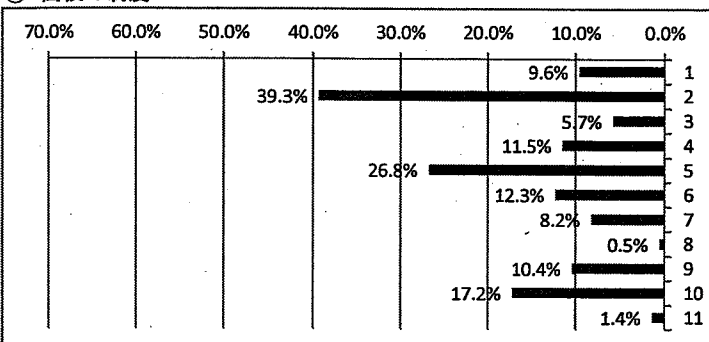
- 1 専門知識や指導力を持った部活動顧問の育成・配置
- 2 教科指導・大学受験・資格取得についての指導力の育成
- 3 生徒指導についての指導力の育成
- 4 進路指導についての指導力の育成
- 5 現在、新たな取組は必要ない
- 6 よくわからない
- 7 その他

③ 高校の取組



- 1 大学受験に向けた取組の強化
- 2 就職の充実に向けた取組の強化
- 3 最先端の技術・技能を習得させることを目指した取組の強化
- 4 資格取得を目指す指導の強化
- 5 疑問に思ったことについて、調べて考えをまとめるなど、生徒の興味や意欲を重視した授業の充実
- 6 生徒指導の強化
- 7 規範意識や道徳性を高める
- 8 学校行事の活性化
- 9 部活動指導の強化
- 10 現在、新たな取組の必要はない
- 11 よくわからない
- 12 その他

④ 高校の制度



- 1 中高一貫教育校の設置
- 2 多様な選択科目の中から自らの進路志望にあわせて選択して学習する学校への移行
- 3 普通科と専門科(商業・工業等)の併設
- 4 大学や専門学校への進学を目的としたコースの設置
- 5 40人未満で授業を行う少人数指導の充実
- 6 企業等が求めている技術・技能を身に付けられる学科への変更
- 7 普通科のコースの更なる専門化、学科学化
- 8 普通科のコースの廃止
- 9 現在、新たな取組は必要ない
- 10 よくわからない
- 11 その他

[表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。]

平成28年度広島市立高等学校に関するアンケート結果(高校:教員)

| 調査対象者数(概算) | 総回答者数 | 回答率 |
|------------|-------|-------|
| 450 | 345 | 76.7% |

◎ 基礎データ

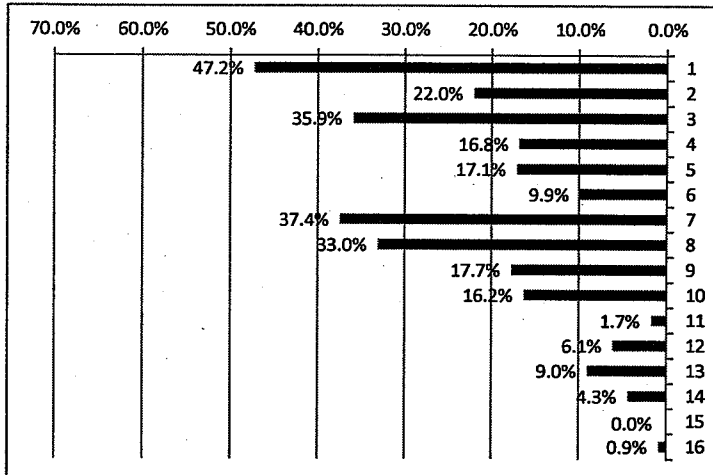
性別

| 項目 | 割合 |
|----|-------|
| 男 | 74.6% |
| 女 | 25.4% |

高校 100.0%

| 項目 | 割合 | 項目 | 割合 |
|-----------------|-------|--------|--------|
| 基町 | 11.9% | 大手町商業 | 5.2% |
| 基町[創造表現] | 0.9% | 安佐北 | 7.0% |
| 舟入 | 13.6% | 沼田 | 10.1% |
| 舟入[国際コミュニケーション] | 0.9% | 沼田[体育] | 0.9% |
| 広島商業 | 10.4% | 美鈴が丘 | 12.8% |
| 広島工業[全日制] | 20.9% | | 100.0% |
| 広島工業[定時制] | 5.5% | | |

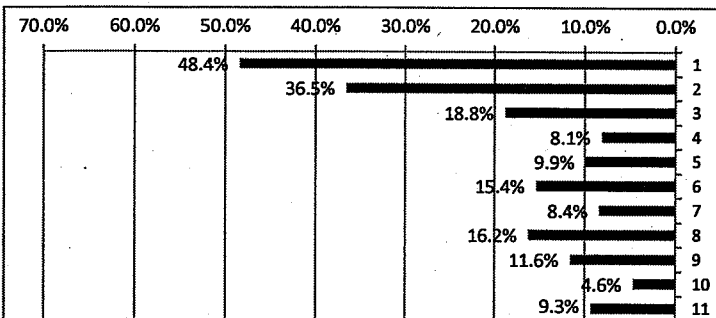
1 広島市立高校に期待される重要な役割(複数回答)



- 1 基礎的・基本的な学習を充実させること
- 2 難関大学も含め、大学進学を目指した学習を充実させること
- 3 職業人として、きちんと社会に参画できる人材を育成すること
- 4 郷土を愛し広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること
- 5 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐむこと
- 6 企業との連携を深め、それぞれの生徒にあった就職指導を充実すること
- 7 自分なりの価値観を確立させ、人間としてのあり方について考えを深める力を持たせること
- 8 規範意識を高め、社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと
- 9 様々な体験・経験を通して視野を広げること
- 10 社会生活を円滑に送るために、論理的に物事を考えて、相手に説明する力を育成すること
- 11 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を身につけさせること
- 12 国際社会で活躍するための語学力を中心としたコミュニケーション能力を育成すること
- 13 スポーツなどを通じ、心身の調和的な発達を図ること
- 14 部活動指導に力を入れ、県を代表し全国大会に出場できるようにすること
- 15 よくわからない
- 16 その他

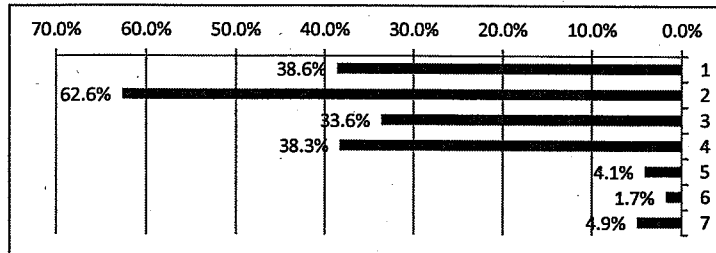
2 魅力ある高校にするための方策(複数回答)

① 重点を置く教育内容



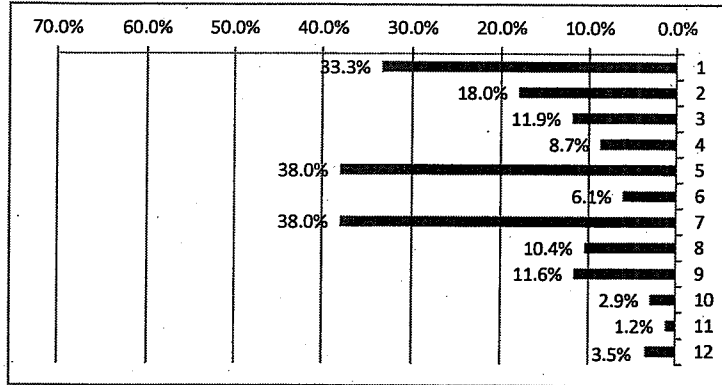
- 1 国際、語学教育
- 2 理数教育(数学、理科など)
- 3 文科系(国語、地理歴史、公民、人間学など)
- 4 芸術分野
- 5 健康・体育分野
- 6 工業教育
- 7 商業教育
- 8 情報教育
- 9 環境教育
- 10 よくわからない
- 11 その他

② 教職員



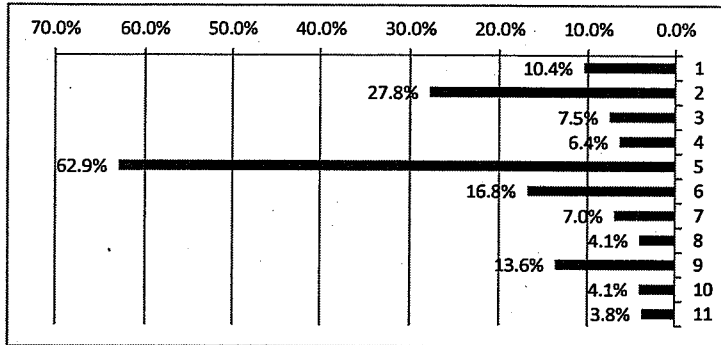
- 1 専門知識や指導力を持った部活動顧問の育成・配置
- 2 教科指導・大学受験・資格取得についての指導力の育成
- 3 生徒指導についての指導力の育成
- 4 進路指導についての指導力の育成
- 5 現在、新たな取組は必要ない
- 6 よくわからない
- 7 その他

③ 高校の取組



- 1 大学受験に向けた取組の強化
- 2 就職の充実に向けた取組の強化
- 3 最先端の技術・技能を習得させることを目指した取組の強化
- 4 資格取得を目指した指導の強化
- 5 疑問に思ったことについて、調べて考えをまとめるなど、生徒の興味や意欲を重視した授業の充実
- 6 生徒指導の強化
- 7 規範意識や道徳性を高める
- 8 学校行事の活性化
- 9 部活動指導の強化
- 10 現在、新たな取組の必要はない
- 11 よくわからない
- 12 その他

④ 高校の制度



- 1 中高一貫教育校の設置
- 2 多様な選択科目の中から自らの進路志望にあわせて選択して学習する学校への移行
- 3 普通科と専門科(商業・工業等)の併設
- 4 大学や専門学校への進学を目的としたコースの設置
- 5 40人未満で授業を行う少人数指導の充実
- 6 企業等が求めている技術・技能を身に付けられる学科への変更
- 7 普通科のコースの更なる専門化、学科化
- 8 普通科のコースの廃止
- 9 現在、新たな取組は必要ない
- 10 よくわからない
- 11 その他

【表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。】

平成28年度広島市立高等学校に関するアンケート結果(中学校:中学生)

| 調査対象者数(概算) | 総回答者数 | 回答率 |
|------------|-------|-------|
| 500 | 499 | 99.8% |

◎ 基礎データ

性別

| 項目 | 割合 |
|----|-------|
| 男 | 50.7% |
| 女 | 49.3% |

100.0%

1 将来的な進学希望

| 項目 | 割合 |
|---------------|-------|
| 1 高校まで | 17.4% |
| 2 短大まで | 3.0% |
| 3 大学(大学校)まで | 56.5% |
| 4 大学院まで | 2.2% |
| 5 中学校まで | 0.0% |
| 5 専門学校・専修学校まで | 10.6% |
| 6 よくわからない | 9.8% |
| 7 その他 | 0.4% |

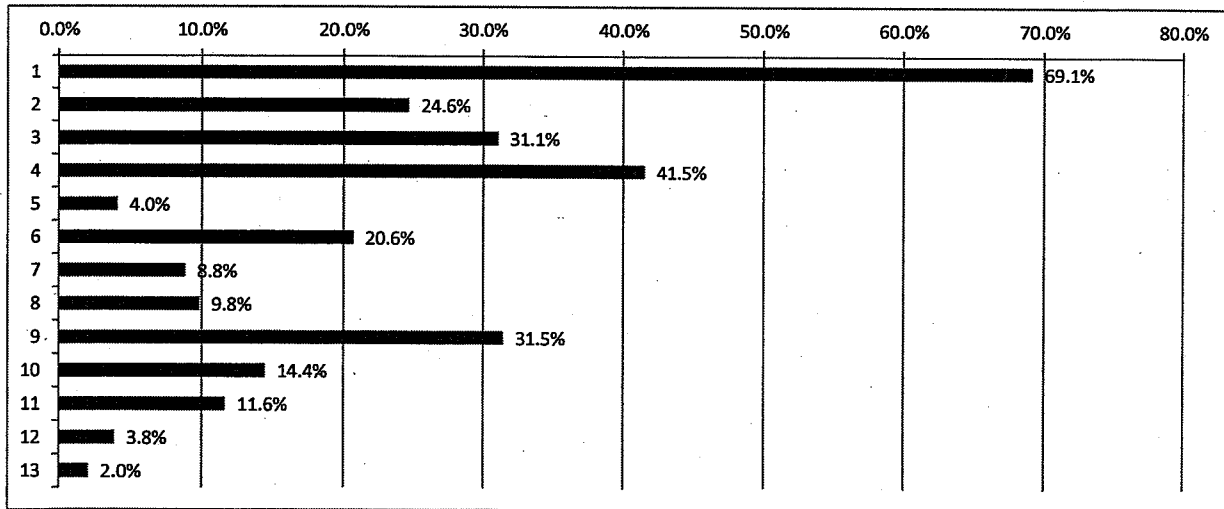
100.0%

2 中学校卒業後の希望する進路

| 項目 | 割合 |
|--------------|-------|
| 1 高校(普通科) | 69.3% |
| 2 高校(商業科) | 5.2% |
| 3 高校(工業科) | 6.2% |
| 4 高校(その他の学科) | 9.2% |
| 5 定時制・通信制の高校 | 0.2% |
| 6 専門学校・専修学校 | 1.2% |
| 7 就職 | 0.2% |
| 8 よくわからない | 7.6% |
| 9 その他 | 0.6% |

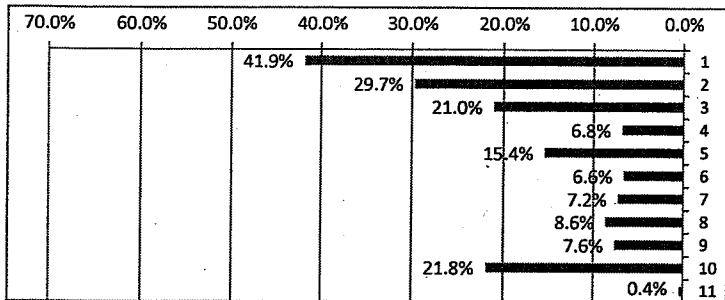
100.0%

3 高校を選ぶときに重視すること(複数回答)



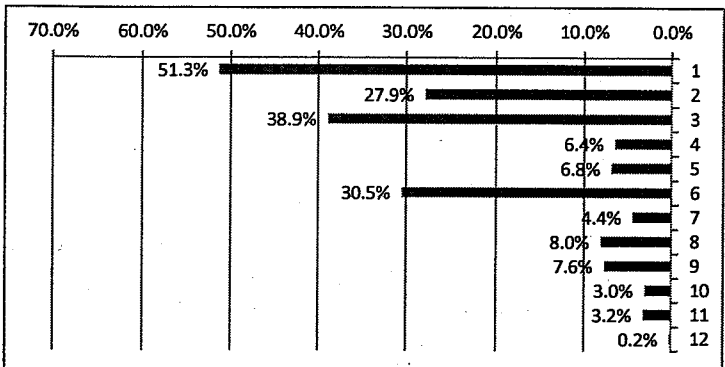
- 1 学力が(生徒に)あっている
- 2 就職に有利である
- 3 興味のある学科・コース・科目がある
- 4 通学の便がよい
- 5 大学等との連携による専門的な学習が充実
- 6 学費が安い
- 7 資格取得に有利である
- 8 制服が気に入っている
- 9 学校行事や生徒会活動、部活動の内容が充実している
- 10 施設や設備が充実している
- 11 進学指導が充実している
- 12 生徒指導が行き届いている
- 13 その他

4 魅力ある高校にするための重点を置く教育内容(複数回答)



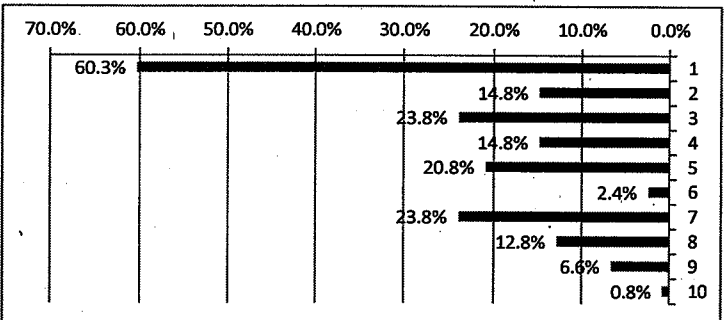
- 1 国際、語学教育
- 2 数学、理科などの理数教育
- 3 国語、地理歴史、公民、人間学などの文科系教科の教育
- 4 芸術分野の教育
- 5 健康・体育分野の教育
- 6 工業教育
- 7 商業教育
- 8 情報教育
- 9 環境教育
- 10 よくわからない
- 11 その他

5 高校で身に付けたいこと(複数回答)



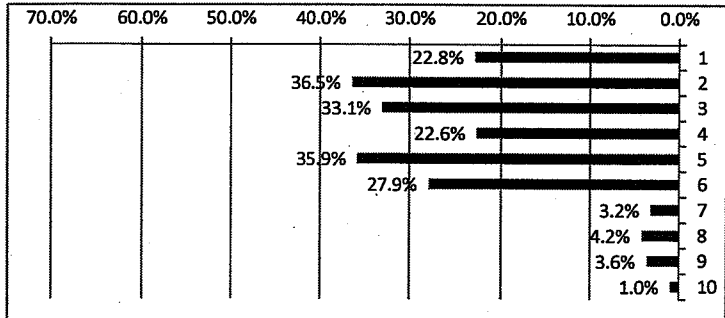
- 1 基礎的・基本的な学力
- 2 大学など上級学校の進学に対応した学力や技能
- 3 社会に出て役立つ資格や技能
- 4 情報処理能力
- 5 課題解決能力
- 6 コミュニケーション能力
- 7 協調性
- 8 忍耐力
- 9 思いやり・規範意識
- 10 リーダーシップ
- 11 よくわからない
- 12 その他

6 期待する授業(複数回答)



- 1 自分の実力に応じた教材を利用した授業
- 2 先生の目が行き届く少人数による授業
- 3 個人の進路や興味関心に応じて、用意された科目の中から選ぶ授業
- 4 疑問に思ったことについて、調べて考えをまとめるなど、生徒の興味や意欲を重視した授業
- 5 実験・実習・実技を中心とした授業
- 6 大学や企業の専門家による授業
- 7 大学受験に対応した授業
- 8 就職に対応した授業
- 9 よくわからない
- 10 その他

7 頑張りたいこと(複数回答)



- 1 資格の取得や検定の合格
- 2 大学受験に向けた勉強
- 3 授業を中心とした基礎的、基本的な学力の定着
- 4 文化祭や体育祭などの学校行事
- 5 部活動
- 6 交友関係を広げること
- 7 尊敬できる先生との出会いと交流
- 8 学校外での活動
- 9 よくわからない
- 10 その他

[表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。]

平成28年度広島市立高等学校に関するアンケート結果(中学校:保護者)

| 調査対象者数(概算) | 総回答者数 | 回答率 |
|------------|-------|-------|
| 500 | 407 | 81.4% |

◎ 基礎データ

性別

| 項目 | 割合 |
|----|-------|
| 男 | 10.4% |
| 女 | 89.6% |

100.0%

1 将来的な進学希望

| 項目 | 割合 |
|---------------|-------|
| 1 高校まで | 13.4% |
| 2 短大まで | 4.0% |
| 3 大学(大学校)まで | 62.1% |
| 4 大学院まで | 0.7% |
| 5 中学校まで | 0.0% |
| 5 専門学校・専修学校まで | 6.9% |
| 6 よくわからない | 5.7% |
| 7 その他 | 7.2% |

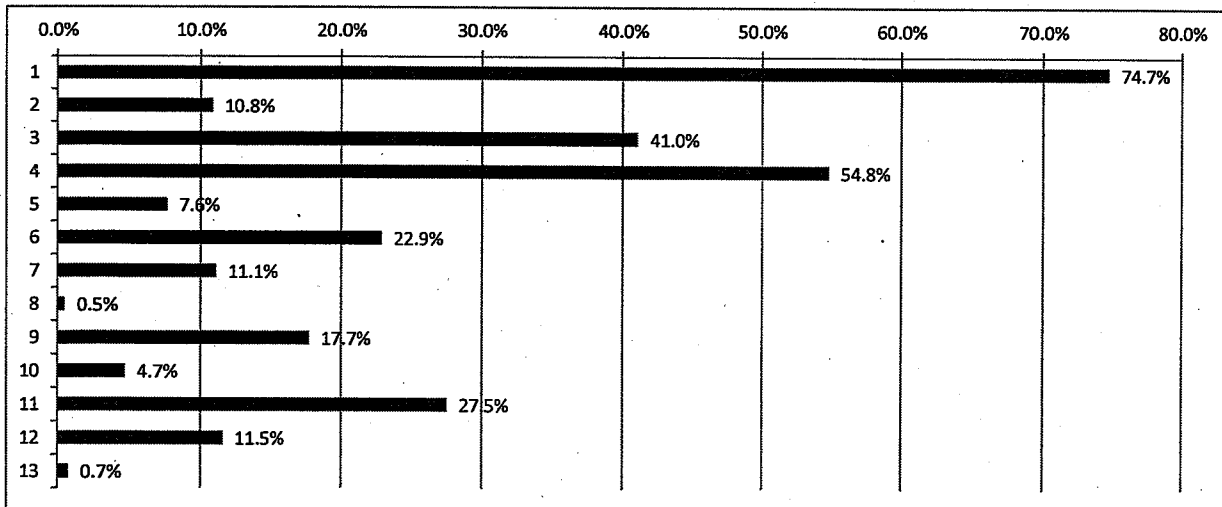
100.0%

2 中学校卒業後の希望する進路

| 項目 | 割合 |
|--------------|-------|
| 1 高校(普通科) | 17.7% |
| 2 高校(商業科) | 6.0% |
| 3 高校(工業科) | 7.2% |
| 4 高校(その他の学科) | 5.2% |
| 5 定時制・通信制の高校 | 0.0% |
| 6 専門学校・専修学校 | 0.2% |
| 7 就職 | 0.0% |
| 8 よくわからない | 5.2% |
| 9 その他 | 4.5% |

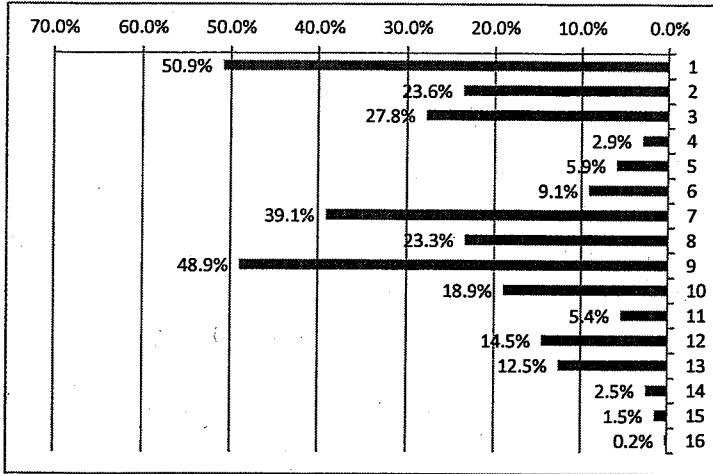
100.0%

3 高校を選ぶときに重視すること(複数回答)



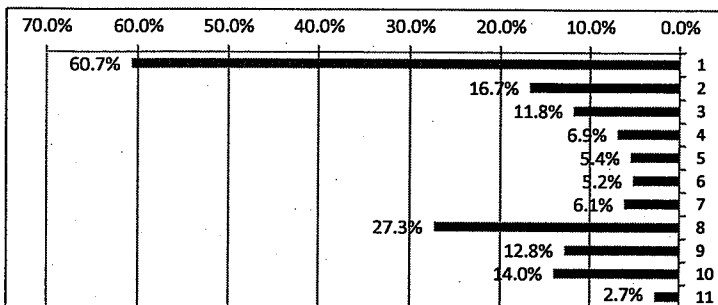
- 1 学力が(生徒に)あっている
- 2 就職に有利である
- 3 興味のある学科・コース・科目がある
- 4 通学の便がよい
- 5 大学等との連携による専門的な学習が充実
- 6 学費が安い
- 7 資格取得に有利である
- 8 制服が気に入っている
- 9 学校行事や生徒会活動、部活動の内容が充実している
- 10 施設や設備が充実している
- 11 進学指導が充実している
- 12 生徒指導が行き届いている
- 13 その他

4 広島市立高校に期待される重要な役割(複数回答)



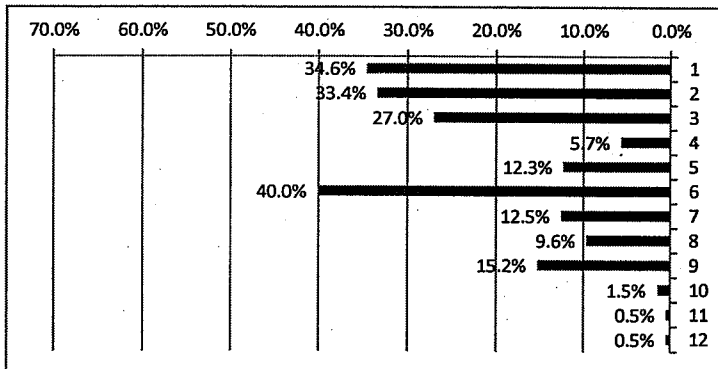
- 1 基礎的・基本的な学習を充実させること
- 2 難関大学も含め、大学進学を目指した学習を充実させること
- 3 職業人として、きちんと社会に参画できる人材を育成すること
- 4 郷土を愛し広島市を中心とした都市圏の活性化に貢献できる人材を育成すること
- 5 国際平和文化都市の学校として平和を希求する心をはぐくむこと
- 6 企業との連携を深め、それぞれの生徒にあった就職指導を充実すること
- 7 自分なりの価値観を確立させ、人間としてのあり方について考えを深める力を持たせること
- 8 規範意識を高め、社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと
- 9 様々な体験・経験を通して視野を広げること
- 10 社会生活を円滑に送るために、論理的に物事を考えて、相手に説明する力を育成すること
- 11 情報化などの変化に対応できるようにするためICTを活用する能力を身につけさせること
- 12 国際社会で活躍するための語学力を中心としたコミュニケーション能力を育成すること
- 13 スポーツなどを通じ、心身の調和的な発達を図ること
- 14 部活動指導に力を入れ、県を代表し全国大会に出場できるようにすること
- 15 よくわからない
- 16 その他

5 魅力ある高校にするための重点を置く教育内容(複数回答)



- 1 国際、語学教育
- 2 数学、理科などの理数教育
- 3 国語、地理歴史、公民、人間学などの文科系教科の教育
- 4 芸術分野の教育
- 5 健康・体育分野の教育
- 6 工業教育
- 7 商業教育
- 8 情報教育
- 9 環境教育
- 10 よくわからない
- 11 その他

6 高校で身に付けたいこと(複数回答)



- 1 基礎的・基本的な学力
- 2 大学など上級学校の進学に対応した学力や技能
- 3 社会に出て役立つ資格や技能
- 4 情報処理能力
- 5 課題解決能力
- 6 コミュニケーション能力
- 7 協調性
- 8 忍耐力
- 9 思いやり・規範意識
- 10 リーダーシップ
- 11 よくわからない
- 12 その他

[表示の単位未満は四捨五入しているため、割合等の総数が100.0%にならないことがある。]

広島市立高等学校将来構想検討会議設置要綱

(設置)

第1条 広島市立高等学校(以下「市立高校」という。)の将来のあり方について検討するため、広島市立高等学校将来構想検討会議(以下「会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 会議は、次の各号に掲げる事項について検討する。

- (1) 市立高校の果たすべき役割に関する事。
- (2) 中高連携に関する事。
- (3) 高大連携に関する事。
- (4) 市立高校と産業界との連携に関する事。
- (5) 市立高校と国立、県立及び私立の高等学校との役割分担に関する事。
- (6) その他市立高校の将来構想に関する事。

(組織)

第3条 会議は、次に掲げる職にある者をもって充てる委員により組織する。

- (1) 教育次長
- (2) 学校教育部長
- (3) 学校教育部指導担当部長
- (4) 総務課長
- (5) 教育企画課長
- (6) 学校教育部教職員課長
- (7) 学校教育部指導第二課長
- (8) 広島市立高等学校長会長
- (9) 広島市公立中学校長会会長

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、施行の日から第2条各号に掲げる事項に係る検討の終了する日までとする。

(委員長等)

第5条 会議に委員長を置く。

- 2 委員長は、教育次長の職にある委員をもって充てる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議等)

第6条 会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、専門的知識を有する者その他関係者に対して、資料の提出、意見の表明、説明等の協力を求めるものとする。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、教育委員会事務局教育企画課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。